

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	就労準備型放課後等デイサービス Like		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日		令和8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日		令和8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 5日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	就労を意識した活動の提供 (就労体験・軽作業・パソコン・iPad活動・公共交通機関を利用した外出し クリエーション・毎日の清掃活動) 仮装通貨の導入 清掃活動・就労体験・洗車等の仕事に取り組み、クレسنを獲得する。通帳 に記入し、貯金する。好きな物を購入する。 稼ぐ→貯める→購入する 社会の疑似体験ができる。	子どもたちが将来生かすことができるスキルを獲得できるよう 日々、様々な経験ができるプログラムの考案をしている。	基本的なスキルが獲得できた後、基本スキルを生かし応用し ていくための活動内容の考案。
2	保護者様との信頼関係の構築	保護者様や子どもたちが安心して利用できる環境づくりの徹 底。 送迎や面談でコミュニケーションを取り、ニーズや支援の意向 について、都度話し合いをしている。 子どもたちのSOSにもきちんと向き合い寄り添った支援を心掛 けている。	保護者様や他事業所(姉妹事業所)の子どもたちと交流でき る機会を増やし、情報交換ができる場所を作る。
3	支援員のスキルアップを目指している。	積極的に研修を受けたり、ミーティングで支援について話し合 い、支援の統一化を図るようにしている。	支援員全員がどの利用者様であっても対応ができるように信 頼関係を築き、適切な支援ができるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもの対応や支援が上手いく時とそうでない時の差が支援 員によって異なる。非常勤支援員のスキルアップ。	対応が難しい子どもと関わる機会が少ない。距離を取ってしま う。	職員が気軽に相談できる環境づくりの配慮。その日のトラブ ル等はその日の内に話し合い共有する。LINEのノートで利用 者様情報や支援の仕方の発信をする。
2	子どもたちが意欲的に取り組めるプログラムの考案。	子どもたちが興味を持てる内容だったり、楽しさややりがい、 達成感を感じられるような活動内容を考えて行かなければなら ない。	保護者様や子どもたちのニーズに耳を傾けること。 自ら積極的に取り組める活動内容や活動の流れを考えてい く。
3	限られた空間の中で安全に配慮し、落ち着いて過ごすこと。	事業所での過ごし方のルールの徹底 情緒が乱れた時の対応の仕方	事業所でのルールの発信(SST、視覚的情報の活用、声掛 け) 安心して落ち着いて過ごせる空間作りの配慮をする。